

状況展望 PART II

環境の危機

roads marks. We have arrived at the building...
thousand...
E... and litter... our way...
today... want to last... grow away...
and p... vers. Plastic... not like bar...
biodegra... at is, bac... fungi cann...
worse as... fume produced... extremely harmf...

It obvious we live... "throw away" we...
life. M... is first... sumer of h...
plants... il. But the...
enviro... when there... surviv...
the...



these... we can... fossil... since...
Nuc... er... place...
radio... causes...
safe... radiation...
death; lesser amounts cause cancer and...



公害産業 日本化工 蔚山工場

90%完工



1978 TE MATAHITI NO TE MAU TAMAHU.

TAUTURU MAI IA MATOU
AIDEZ-NOUS!
HELP US!



FAADPE IS FAKO JAMATARA ATOMI (FOOTO TE MOANA PATEHU
NO TO TATOU MAU TAMAHU)
A LE PACHIVISA GEMULTISE POUR NOS ESPRANTS
NUCLEAR FREE PACIFIC FOR OUR CHILDREN

東京日経 75.8

日本大使館

日本

シンガポール



造船所事故犠牲者の母親

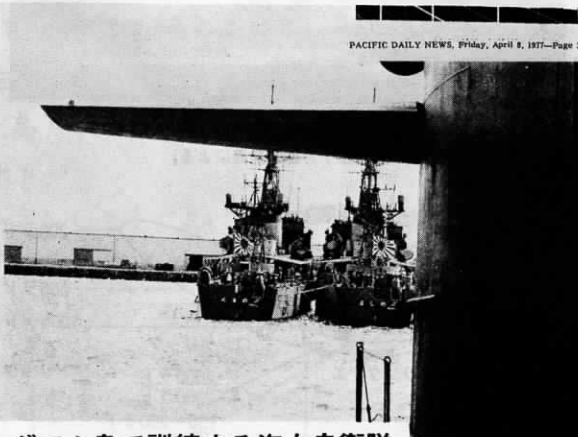
「スロウリー」...
「スロウリー」...
「スロウリー」...

仏核実験で原爆症？

地元指 導者談 タヒチ人ら隔離治療



「仏核実験の被害は、タヒチ人に限らず、太平洋全体に及ぶ可能性がある。地元指導者は、被害者に対する隔離治療を求め、国際社会の注目を集めている。」



グアム島で訓練する海上自衛隊

特集・状況展望 PART II 琉球弧のかなた

ヤマト帝国総合安全保障

アメリカ帝国新太平洋戦略

新大東亜共栄圏

「魚里人」「公害を逃すな」共同企画

'79年3月

インドのことわざに言う——

「一握りの砂を知る者は宇宙を知る。」

枝手久闘争の本質を深く知る時、広く世界を舞台とした、権力の野望と、人民の抵抗との闘争のドラマが見えてくる。

「世界はひとつ。」——帝国主義にとって、地球はそっくり収奪の対象である。東亜燃料の枝手久島進出計画は帝国主義の世界戦略の一環である。

人民にとっても「世界はひとつ。」 獄中の金芝河、ミンダナオの回教徒ゲリラ、抑圧からの解放を求めて決起する無数無名の人民——ヤマト帝国主義の国内植民地・奄美にナロードニキして、枝手久闘争の渦中にコミュニン革命のヴィジョンを実体化しつつある私たちは彼らと同じ地平に立っている。

それでは、琉球弧のかなたにまで視界を拡げて、太平洋とアジアの状況を見渡してみよう。

アメリカ帝国主義

不敗を誇った「世界の憲兵」がヴェトナムで敗北を喫した結果、地上軍駐留方式から

海空打撃力重視に戦略転換を迫られ、トライデント、巡航ミサイル、中性子爆弾などの「超兵器体系」を開発すると共に日本—沖縄—台湾—フィリピン—インドネシア—ディエゴ・ガルシア—パレーンを経る「島嶼防衛線」を最前線とし、その背後のミクロネシアの島々に核戦略基地を築くと共に、先進同盟国であるカナダ、日本、オーストラリア、ニュージーランドに防衛分担を迫る、「環太平洋戦略」を採用。

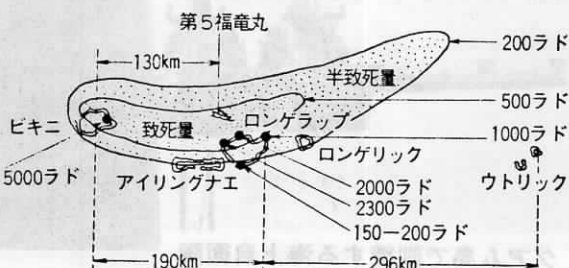
ハワイ州 観光ハワイの陰に、三軍統合・太平洋総司令部。ポラリス、ポセイドン型原潜母港基地。

ミクロネシア 米軍の核実験場であり、今また環太平洋戦略の主舞台となっている。さらに200カイリ時代を迎えて、海底石油、マンガン団塊、水産資源の宝庫とされる、このU.S.A. 本土全体に匹敵する広大な海洋地帯の経済的価値も急に高まり、国連信託統治期限が81年に切れるのを目前にして、アメリカは「自由連合」の名目で実質的な永久領土化を図っている。それに対して、島民たちは太平洋民族意識に眼覚め、反核・独立闘争に立ち上がっている。

マーシャル群島ビキニ、エニウエトク環礁 「世界平和のため」と称して、島民を追放して、1946～58年、原水爆実験。1954・3・1の第1回水爆実験で第5福龍丸被爆、風下のロンゲラップ島民約300名が「まるでねずみのように」人体被爆実験される。ビキニへの島民帰還と再追放、人体実験は今も続く。



〈死の灰〉の降下図
(米国原子力委の発表による)



クワジェリン環礁 ABM (迎撃ミサイル) 基地。カリフォルニア州ヴァンデンバーグで発射したICBMを打ち落とす実験場。基地設営に当っては、島民7000名を巾100m、長さ1kmのイバイ島に追放して、「ミクロネシアのゲッター」出現。



カロリン諸島 東南アジア原発推進のために、核再処理・貯蔵センター計画をアメリカが日本に提案。テナン、グアム、パラオの背後にある位置関係に注目！

マリアナ諸島 軍事的要衝であり、まさきに米領土化決定。チャモロ族は反基地・反核・独立闘争にたちあがる。

テナン島 広島・長崎原爆機発進基地。今また核戦略拠点基地設営。巡航ミサイル配置か？

グアム島 日本資本による観光パラダイスの陰に、戦略爆撃機B52基地であり、ボラリス、ポセイドン原潜前進基地。

パラオ諸島 米軍と共同して、日商岩井・興業銀行がスーパー・ポート構想と称する、年間6000万KL中継のCTS、石油精製、原発、淡水化工場などを計画。米海軍はトライデント型原潜、海兵隊演習場、核・毒ガス貯蔵庫を計画。『トライデント：水中排水量15,000トン。MaRV（機動核弾頭：ABM回避能力と終末誘導機能を持ち、着弾精度、数フィート！）17発を内蔵した多弾頭ミサイル24基を装備し、射程1万km以内の、すなわ

ち地球の半分の地域内の目標504ヶ所を同時に正確に攻撃できる。』

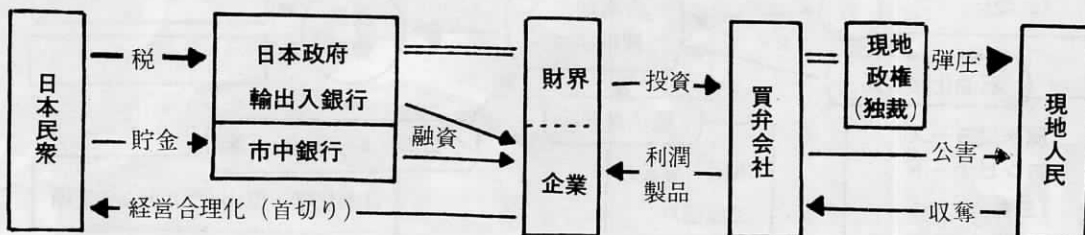


パラオCTS計画

日本帝国主義

U.S.A. 新太平洋戦略に呼応して、「有事」キャンペーンで国民の危機感を扇りつつ、拡張主義的軍事大国への道を歩み始めた。同時に「総合安全保障」と称して国益論を扇りつつ、資源収奪全方位外交、公害産業部門の海外立地を、強大な資本力を武器として、攻撃的に展開しつつ、国内では、エネルギー危機を名目として、原発・CTS計画をファッション的に推進しつつ、産業構造転換と称して、非効率部門のスクラップ化と労働弾圧を内容とする経営合理化を強行している。

対外投資の仕組



北九州 日中共同油田開発に伴うC T S 計画が目白押し。中国炭専焼松浦火力（二基170万KW）、玄海原発増設（2号55万KW、3・4号各120万KW）、豊前火力操業など電源開発計画も集中。朝鮮半島有事に備えて佐世保軍港強化、日本海封鎖のために機雷敷設機部隊の板付基地配備決定。

東シナ海 1978年、日韓大陸棚共同開発協定発行。経済的側面よりは政治的・軍事的意味が主体。

琉球弧 南方戦略橋頭堡として、観光・エネルギー・軍事列島化。通産省「民族派」の核燃料パーク構想と、潜在的ミサイル基地。

小笠原諸島 C T S 計画、五洋建設調査済。

硫黄島西方海域 20万トンタンカー10隻による洋上漂泊備蓄。

硫黄島 陸海空自衛隊統合基地計画。日本領土であっても、実質上は「海外基地」。

韓国

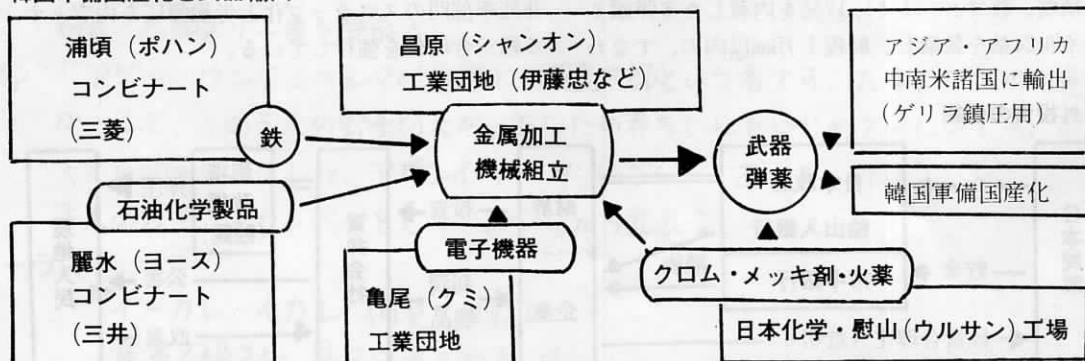
朴独裁維新体制下で対日経済隷属、日本資本の加工貿易基地化。地下鉄事件、金大中事件など黒い日韓ユ管。KCIA・統一教会の国民弾圧と国際謀略。

古里（コリ） 原発一号基59万KW、1977年運転開始。二号基65万KW建設中。現代工業がWH社と技術提携。1976年には政府は6年以内の原爆保有計画を発表。

馬山（マサン） 自由貿易地区、すなわち外国資



韓国軍備国産化と武器輸出



本の経済的治外法権地区。以上あげた他にも、工業団地・自由貿易地域は全土に渡って無数に。

済州・(チーチエ) 島 岸・小佐野一派のウォーカー・ヒル型歓楽郷計画。

チーム・スピリット'78 昨年3月に実施された米日韓合同演習。米軍42000名、韓国軍62000名参加。日本は戦術核ミサイル・ランスの横田通過を含む基地自由使用。チーム・スピリット'79も実施。



中国

日米と平和条約。日米安保・自衛隊を認知してソ連包囲網完成を図る。1979年2月現在、中越戦争中。「4つの近代化路線」と称して、外資導入を熱烈歓迎。

渤海・黄海 原油バーター方式による、日米との共同で海底油田開発。

上海 川鉄が新日鉄の協力を得て、宝山製鉄所建設中。原料鉱はミンダナオ・シンター工場から。

台湾 日本の経済的植民地。鄧小平副主席は日米の既得権存続を保障。

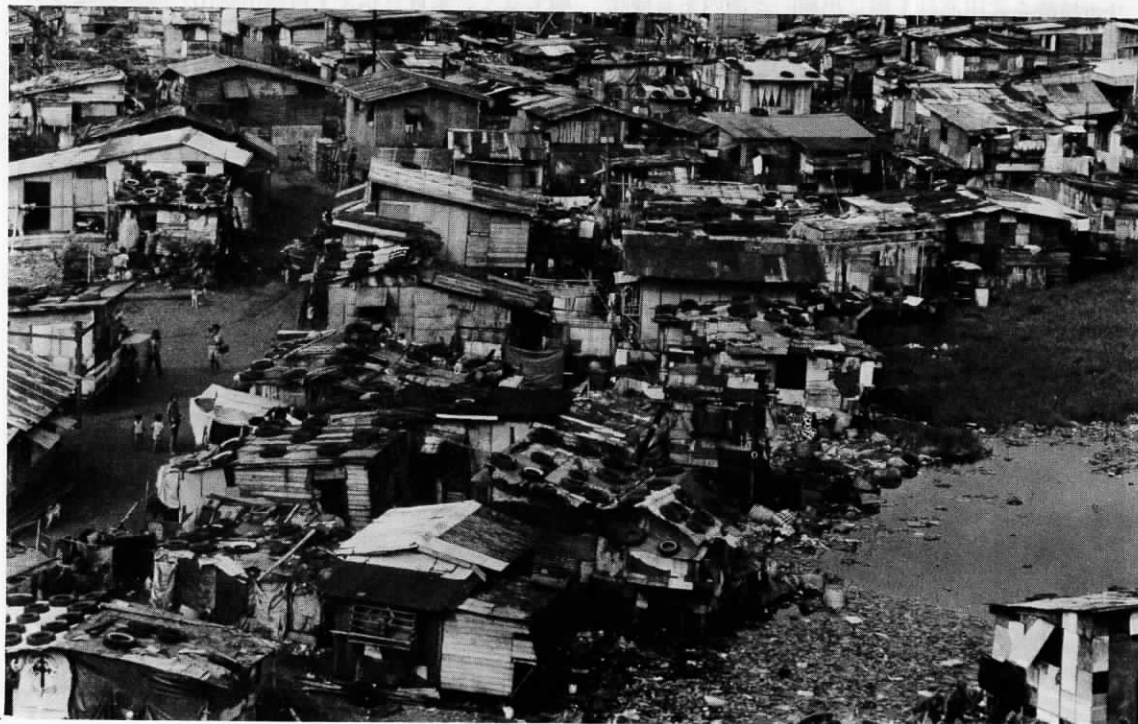
ベトナム国境地帯 1979年2月、中国軍がベトナム侵攻。ソ連は中国に重大警告。

ASEAN

東南アジア諸国連合。1967年設立。

政治的・経済的調整が表看板だが、対ゲリラ共同作戦に見られる如く、軍事同盟的な色彩も濃厚。70年代に入って、日本への経済隷属化が急進展し、「醜いJ-ASEAN」の異名を持つ。「人口2億4千万のこの地域は、日本にとって原料供給地であり、貿易市場であり、日本企業の進出も多い。中東からの原油輸送路でもあり、総合安全保障のうえで、我国とASEANとの関係は不可欠である。」(朝日社説要約)

トンド地区スラム街▼



フィリピン

1972年マルコス戒厳令発布。

岸・笹川フィリピン協会設立。

1974年田中訪比して、日比友好通商航海条約発効。

ルソン島北部 チコ川流域ダム開発。世界銀行、海外経済協力基金などが融資。西日本技術開発が企業化調査。少数民族イゴロット族、ボントック族10万人の聖なる父祖の地が水没の危機。

クラーク米空軍基地 ファントム40機、ハーキュリー60機、人員6000名。防衛・輸送・支援活動範囲は太平洋からインド洋。

スービック米海軍基地 第7艦隊の修理補給基地。核兵器庫。P3C対潜哨戒機基地。

バタン半島 自由貿易地区。加工貿易地区として、日系13社(77年)進出。労働者の日給500円!WH社原発60万KW2基計画のうち一号基建設中。

マニラ湾 トンド沿岸都市再開発構想。国際港を建設し、大マニラ市—国際港—バタン自由貿易地区をハイウェイで結び、合わせて観楽郷マルコス市を築くという。このクリーン・マニラ・プロジェクトと称する計画で、スラム住民20万人が、家賃も高く、職も探しようもないニコー・タウンに強制移転の運命に。その手始めとして、太平洋漁業など日本資本のためのナボタス巨大漁港を、アジア開発銀行の融資で、原因不明の大火が2回続いたあとに、東洋建設が着工。この計画によって、



MNLF (モロ民族解放戦線) スペイン統治時代から反帝闘争を担い続け、今もカソリック帝国主義に抗してミンダナオ南部13州の分離独立を求める回教徒勢力の武闘組織。メンバー8万、武装部隊3万と推定される。1977年停戦交渉がもたれたが、国軍の裏切りでゲリラ戦再燃。

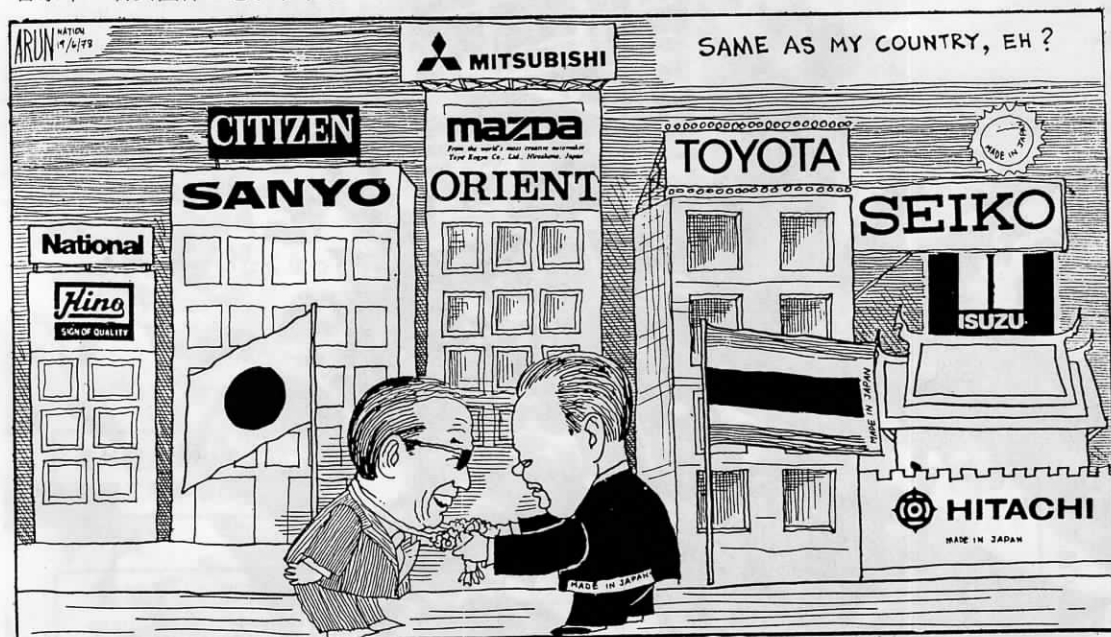
スールー諸島ホロ島 回教徒勢力の中心地。1974年、国軍がホロ市砲撃、難民10万人。

タイ 1976.10.6 “血の水曜日” クーデター。タマサート大構内の学生・労働者集会を警察軍・右翼団体が急襲、虐殺200人。1973年革命

で成立した議会制内閣は崩壊、タニン戒厳令内閣成立。「開発途上国では民主制から独裁制への移行は、少くとも経済発展の尺度から見ると限りは、明らかに進歩。」(在バンコク日系企業幹部)

タイ人民統一戦線 クーデター後、森に入った学生、労働者、社会党、社会主義統一戦線などが、共産党ゲリラと合流して、1977年結成、全土に革命拠点、解放区を拓いている。

ウドン県タブルエン村 クンパワビー製糖(三井49%出資、国際協力事業団が超低利融資)が前借金で農民を縛り、地域専制支配。キビ価格地域格差是正を中央政府に陳情した農民夫婦を殺し屋が



▲ ASEAN外相会議出席のためタイをおとすため 園田外相 「私の国と同じですねえ」
タイロネーション・レビュー誌 1988年6月19日発行

襲撃。

クワイ川シーナカリン・ダム 貯水量 177 億トン（大河内ダムの百倍）、発電予定量 54 万 K W。総工費 2 億 1600 万ドルを世界銀行、海外経済協力基金、輸出入銀行が融資。日本の電源開発が設計・監督。ダム本体工事はイタリアのヴィアーニ社が落札したが、日立、日本電気、富士通、日本鋼管が参加。メクロン河総合開発の一環であり、クワイ川ではさらに 5 ケ所のダム計画がある。これはゲリラ対策でもある。

バンコク 日本製麻サラブ・ジコート・ミルが、製造コストよりも安く本社に麻袋の輸出を続けていたが、1977 年に賃金未払いのまま計画倒産、幹部逃亡。その他にも、戒厳令下の労働弾圧にもかかわらず、東京銀行、富士ゼロックス、JETRO など労資紛争続発。

シャム湾 海底 L N G 開発と、粗鋼年産 120 万トン製鉄コンビナート計画。

クラ地峡 水爆“平和利用”の運河計画に代って、CTS・パイプライン・システム計画。

1974・1 バンコク反日デモ



白いハト

White Dove (白いハト) musical score snippet. The score is written in G major, 4/4 time. It includes lyrics in Japanese and English. The lyrics are: 白いハト、空を飛んで、平和を運んで、世界に届け。 (White Dove, fly across the sky, bring peace, and deliver it to the world.)

この歌や「星をたよりに」を歌ったカンマチャック(労働者)バンドの女性歌手ニタヤは「血の水曜日」に他の女子学生とまわろうとして射殺されたという。

マレーシア

マレー人(56%)、中国人(34%)、インド人(9%)の複合人種国家。中国人の共産ゲリラが活動。フセイン・オン独裁政権が国内治安法によって反政府勢力弾圧。国境地帯ではタイと共同でゲリラ掃討作戦。ベラ川テメンゴール・ダム 38万KW 発電。220億円の借款で間組が受注、丸紅、日立、日本工営が参加。1977年完成。1974年末、ゲリラが日本人宿舎を襲撃、2名死亡。

ペナン島 日本資本による日本人のための観光開発が漁民から海を奪い、女性から人格を奪い、成田開港に合せた、前田建設の空港拡張工事が農民から土地を奪う。

ペナン州 プライなど4工業団地に新日鉄、日立、東レ、カネボオ、クラリオン、不二サッシなど二十数社が進出。プライでは漁村クアラ・ジュールの河口を水銀、カドニウムで重金属汚染。新日鉄マラヤワタは黒煙を吐くのでブラック・マウント・フジの異名をもつ。

ペントン市 丸紅30%出資の天然ゴム製造会社LYラバー社、1977年操業開始、年産72,000トン进行日本向輸出。

北ボルネオ・サンダカン サバ州主要産業木材の積出港。70%を日本向輸出。トーメン、日商岩井、兼松江商など27社駐在。

サラクワ州ビンヅル 1968年海底油田発見。1974年国策石油開発会社(ペトロナス)設立、三菱、シェルと共同でLPG開発、1982年から年間600万トン进行日本向輸出の予定。

マムート銅山 日本の国策企業OMRDサバ社が銅だけでも169ppmという猛烈な鉍毒をたれ流し。サバ州政府は「住民の移転費用として」12億円を要求。谷中村の再現！

鉍毒のため魚がいなくなったロハン河

シンガポール

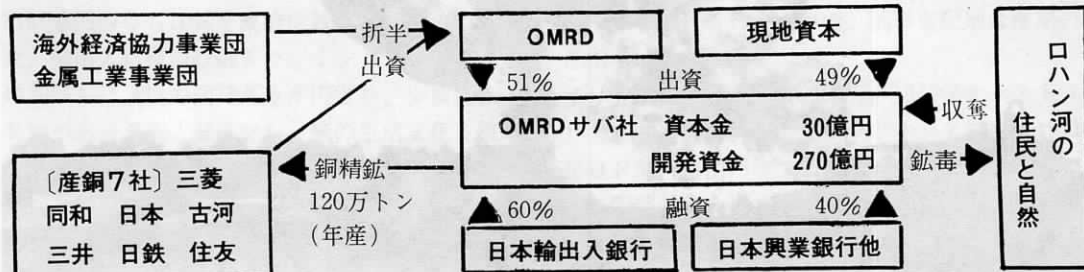
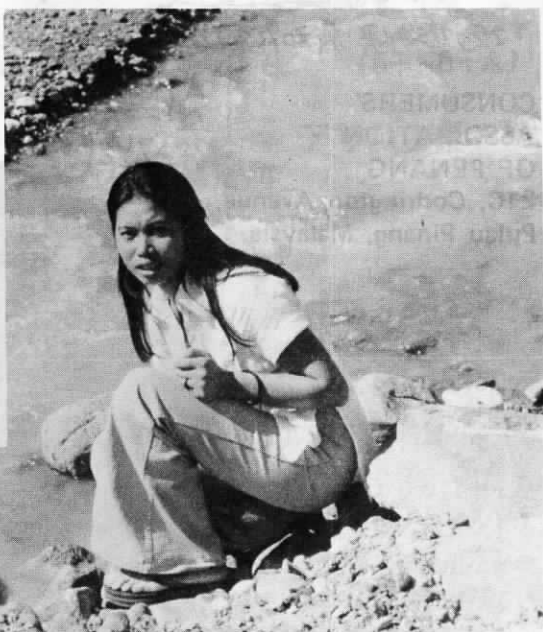
リー・クワンコー独裁。東南アジアで最も近代的で繁栄した産業都市国家だが、国民総背番号制の非人間的な高度管理社会。アジア最大の金融市場であり、「円経済圏」支配拠点地。加工貿易地として、日系240社、6,000人進出。

石化コンビナート計画 住友化学を主体にエチレン年産30万トンを国策事業として立案。

ジユロン造船所 1963年設立の石川島播磨(IHI)51%、シンガポール政府49%の合弁会社。

1978.10.12、修理中のタンカーで爆発事故、死者76人、重軽傷70人、ほとんどが女工。同社では72年にも5人死亡の爆発、74年には13名死亡の火災と、事故が相継いでいる。IHIは海外では低賃金労働者を初歩的安全対策もとらない殺人的作業環境で使役している。一方では、国内では首切り5000人の大合理化を企んでいる。

MMB シンガポール 日本ミネチュア・ベアリング100%出資。タイから低賃金女性労働者を250人を奴隷的雇用条件で輸入。



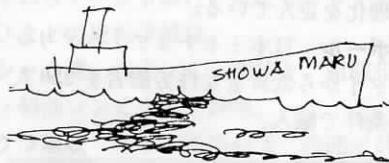
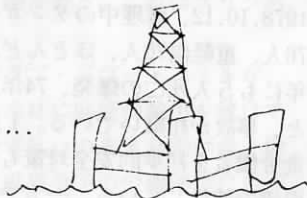
マラッカ海峡

日本の原油輸送の80%が通過。1975年の祥和丸事故など巨大汚染事故多発。日本のマラッカ海峡協議会が航路調査、航路、港湾整備計画。自衛隊のヘリ空母、対潜哨戒機P-3C導入に伴って、「マラッカ海峡生命線防衛論」が現実化。

They say...

「油田開発を以て
国威発揚！」

と云っても.....



マラッカ海峡・祥和丸事故

油汚染
に因しては
沈黙!

CONSUMERS'
ASSOCIATION
OF PENANG

21C, Codrington Avenue,
Pulau Pinang, Malaysia.

▲
ペナン消費者協会
パンフレットより



インドネシア

石油、木材、錫、アルミなどアジア最大の資源国。ス

ハルト独裁官軍複合翼賛体制のもとで、総体的汚職経済と慢性的食料危機のために、産油国でありながら世界銀行を中心とする債権国会議の債務奴隷国家。

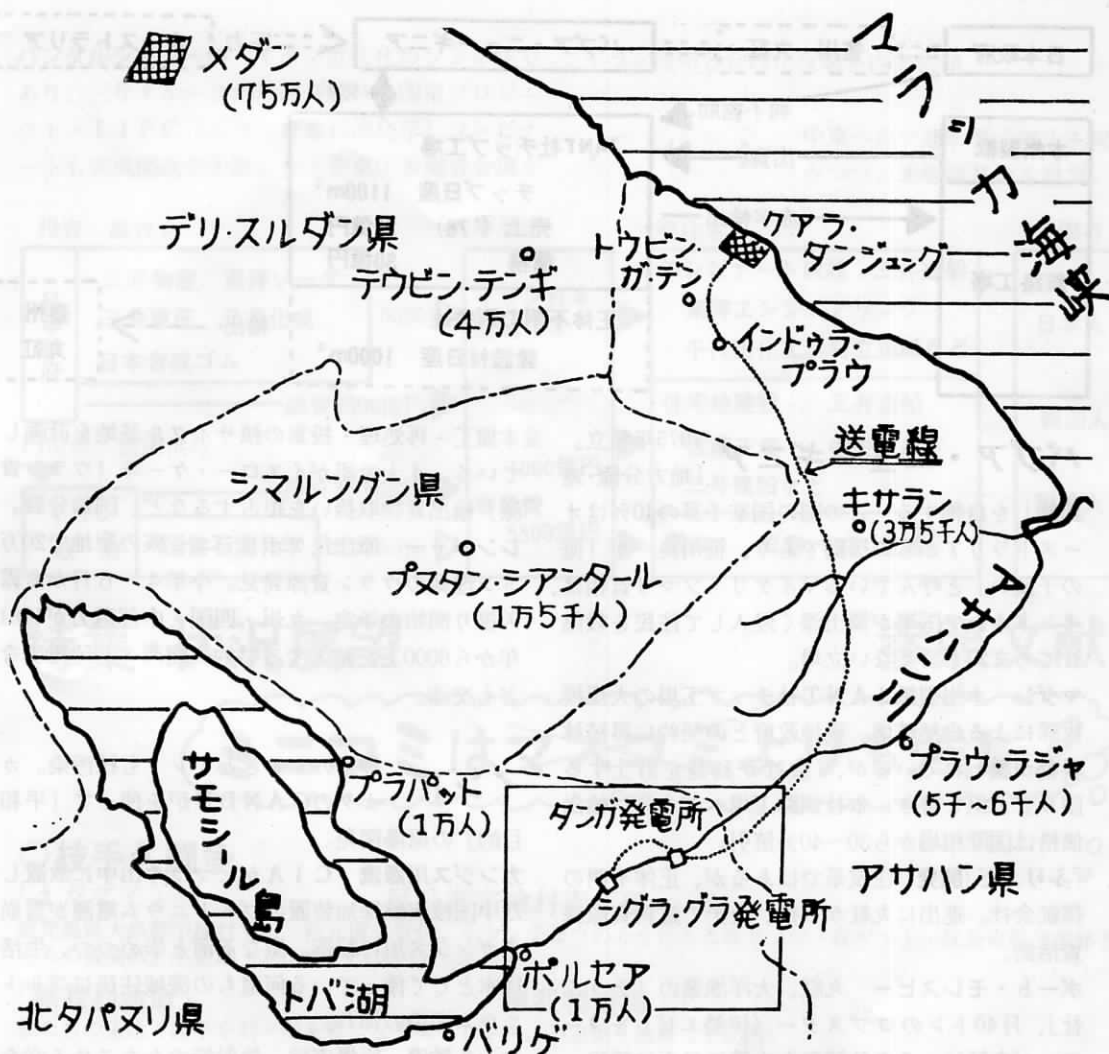
プルタミナ (国策石油公社) ストーン総裁が卒先し、大統領も関係した汚職と、ホテル、キャバレー、ゴルフ場まで手を出す、信じ難い程の放漫経営の結果、1976年100億ドルの借金を残して倒産、メジャーの債務支配下に。

バターン島 マラッカ海峡の小島に、日商岩井、大協、丸善石油などがCTS計画。

スマトラ・アルン、ボルネオ・バタック両ガス田

主権者プルタミナ、利権者モービル (アルン)、ハフコ (バタック)、利用者関西電力、新日鉄などの共同事業体。日本政府1億9000万ドル、興銀など12億7000万ドルの融資で1974年開発。20年間に渡って年産750万トンのLNGを日本へ、350万トンアメリカへ、合計すれば推定埋蔵量の52%を収奪する契約。1978年4月アルン田タンク火災、5月バタック田LNG圧縮タンク爆発、続く6月アルン田世界最大級の爆発事故。

アルンカス田の爆発 (マティンボック誌、1978年7月8日号)



アサハン・プロジェクト 「神の湖」と呼ばれるトバ湖から流出するアサハン川の43万KW水力発電、クマラ・タンジュクの年産22万5千トンのアルミ精練計画。120kmの送電線、港湾、2万人のニュー・タウンも併設。日本アサハン・アルミ社、資本金911億円（日本75%、インドネシア25%）、日本側は住友アルミ・住友商事、昭和電工・丸紅、三菱化成・三菱商事、三井アルミ・三井物産、日本軽金属・伊藤忠、日商岩井、日綿が参加。事業費3199億円のうち70%を政府借款、海外経済協力基金、輸出入銀行の投融資で、インドネシア負担分の30%も経済協力開発基金が円借款。少数民族・高地バタック族、海岸マレー族の生活文化を破壊しつつ強行される、この巨大大事業は資金の40~60%が汚職で消えて難行。

バリ島 独特のヒンズー教文化の島も、観光公害地として、俗化。

ロンボク島 ロンボク海峡はマラッカに代るタンカー航路であり、CTS計画および総合開発計画。但し日本の石油戦略を警戒して、サウジ・アラビアが難色を示している。

東チモール 人口60万人。フイティリン（東チモール独立革命戦線）が1975年独立宣言。インドネシアは国軍4万を投入して、化学兵器使用などのエコサイド（生態系破壊）作戦で侵襲を図っているが、兵士は草原や森のトラップを恐れて、道から一歩も離れられないので、国軍支配地は海岸の都市だけ。

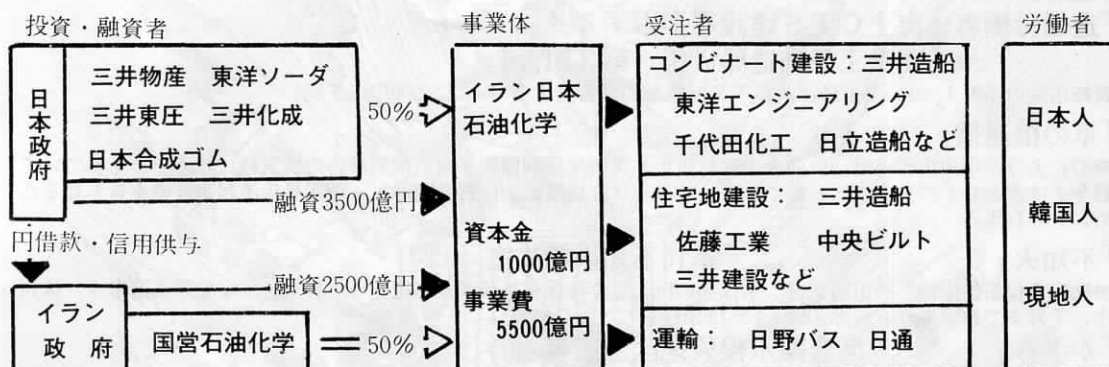
イリアン・ジャヤ 人口90万。1960年オーストラリアに国連信託、1969年インドネシア併合、1971年OPM（自由パプア組織）が独立宣言し、「西パプア臨時政府」樹立。国軍はガン・シップ、空爆による攻撃の他に、土着民部隊を編成、ゲリラを装って住民を殺傷するといった、きたない戦術。

バンダルシャブール イラン近代化のシンボルであり、三井グループが社運を賭けた国策プロジェクト・I J P C (イラン日本石油化学) コンビナートも完成間近で中断。全三井東圧労働者会議が

イラン侵略と合理化攻撃を内部告発。

バーレーン

中東へのソ連影響力増大を睨みつつ、米艦艇基地を設営。



特集・状況展望

参考文献

ニニコミはマスコミよりも強し!

○枝手久闘争

「えだてく」

反公害宇検村青年部

鹿児島県大島郡宇検村平田 新元博文気付。シマンチュウの心を伝える反サツマ・反ヤマト・反公害闘争主体者たちの機関紙。不定期・300円 (〒120円)

「無我利通信」

無我利道場

私たちの生活と闘争を刻々伝えるニュース・レター。不定期・無料 (〒50円)

「あしやげ」

関東奄美青年部

〒130 東京都墨田区両国3-12-8 白金マンション501号。東亜燃料本社攻撃などに関東シマンチュウの闘争。

「逆流」

奄美青年同盟鹿児島支部

鹿児島市下伊敷町2277-11 藤井勇夫気付。77年末の緊急特集号にMA-T計画を詳しく暴露。残部少しはあるはず。

○沖縄

「琉球弧の住民運動」CTS阻止闘争を拓げる会

「公害ぬ無ん世ど」

CTSを阻止する会

「基地レポート」

沖縄・基地をのぞく会

以上いずれも、沖縄県那覇市松尾214 ぐらしの公害を追放する会気付。

「東海岸」

金武湾を守る会

沖縄県与那城村屋ケ名1245 安里清信気付。月刊100円。

「沖縄通信」

沖縄CTSを考える会

〒113 東京都文京区向丘1-3-7 自主講座分室内。

○九州住民闘争

「九州住民闘争交流合宿報告」

「蜂窩」九州住民闘争交流合宿実行委員会

熊本県水俣市湯堂 遠見の家気付。報告は年1回。蜂窩は月刊・年間2000円 (〒共)



「炎突」 北部九州労働者安全センター

北九州市八幡西区西神原町4-22。激烈な公害発生地のどまん中から、労働弾圧・公害を告発。100円(〒別)

「筑豊通信」 筑豊と共闘する会

東京都新宿区百人町1-24-14 たいまつ社気付。福岡県田川郡川崎町東陽 矢野気付。地域丸每切り捨てられた炭鉱地帯の差別をえぐる。

「造船労働者は海上CTS建設を拒否する！」

三菱重工長崎造船労組(第3組合)

長崎市飽の浦町1-61。上玉島洋上CTS計画を内部告発するパンフ。500円(〒別)

「草の根通信」 松下竜一

871 大分県中津市船場町。豊前火力絶対阻止。環境権裁判原告・海戦裁判被告の、気軽に読めて、それでいて闘争主体者としての自覚が伝わって来る、ユニークな機関紙。佐賀の関漁民・西尾昇氏決起事件の本質を知るためにも注目!

「不知火」 季刊不知火編集室

867 水俣市湯堂793 砂田明気付。水俣病の巨大な全体像を最新部から把えつつ資本・国家犯罪を追求! 一休刊中、7号まで在庫あり。一部500円(〒120円)

「かずら」 反農薬水俣袋地区生産者連合

876 熊本県水俣市袋茂道 大沢忠夫気付。水俣を第2の三里塚にするな! 水俣病の国家責任追求と、自立農業運動。

「風祭」 原発を葬り自然の灯をともし会

890 鹿児島市郡元1-21-35 鹿児島大学理学部物理学科 橋爪研究室気付。川内原発を始め、エネルギー政策に抵抗して、風車発電所を造るドン・キ・ホーテの心意気。

○反権力・反公害闘争

「公害を逃すな!」 反公害輸出通報センター

113 東京都文京区向丘1-3-7 自主講座分室内。第3世界への公害輸出を告発し、被抑圧人民の生の声を伝える! 78年8,10,11月号、ダマリの「枝手久通信」連載。79年3月号には、シリーズ「核と第3世界」にダマリが投稿。月刊・年間3000円(〒共)

「土の声・民の声」 土の声・民の声編集委員会

自主講座分室内。「資源エネルギー危機キャンペーン」に抗して、乱開発を告発。月刊・年間3600円(〒共)

「分権・独立運動情報」 地域社

150 東京都渋谷区神宮町5-52-1 305号。コミュニケーション革命をめざす分権・独立運動情報誌。筑豊、奄美、沖縄を詳しく報告。東チモール、イリアンジャヤなど世界の分権・独立武装闘争にも詳しい。年2回刊・500円(〒120)

「地域闘争」 ロシナンテ社

京都市左京区下鴨松ノ木町85。地域闘争・自然保護運動・消費者運動当事者からの報告。月刊・年間3000円。

「イオム通信」「WRI ニュース・レター」

WRI 日本支部

大阪市あべの区旭町2-12-2 向井孝気付。反権力・反原発非暴力直接行動! 不定期・無料(但し50円切手を貼った封筒送ること) WRI=戦争抵抗者インターナショナル。

「NAMA ZU」 WRI 日本支部

日本の非暴力直接行動を伝える英文ニュースレター。4号からダマリの「FISH LAND LETTERS」連載。

原子力

「原子力発電は安全か?」 久米三四郎講演

ひとりひとりが原子力の恐ろしさを考える会

113 東京都目黒区中目黒3-13-19 日本消費者連合気付。絶好の入門パンフ。

「反原発新聞」 反原発運動全国連絡会

105 東京都港区新橋6-11-3 プルトニウム研究会気付。月刊・年間2000円。

「聞いて下さい」 坂田静子

382 長野県須坂町穀町529。母親として原発への疑問を訴える個人紙。